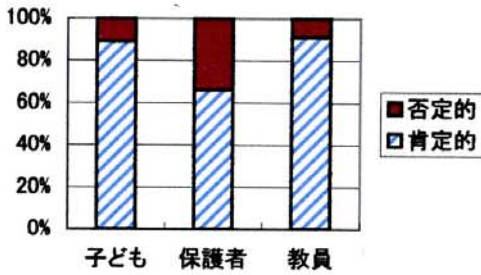


いじめ不登校対応



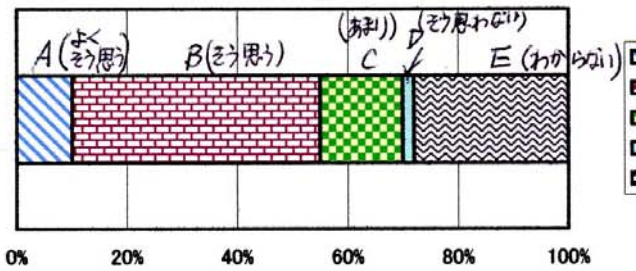
「9 学校はいじめのない集団づくりにつとめています」では、左図のように保護者、教員の差が大きく見られます。教員が意識している以上に保護者の方も子どもたちの生活を敏感にとらえていただいている表れと思います。学校では、集団の中で困っている子どもに心の助けをさしのべられるよう、「心のアンケート」を実施しています。学校生活の様子や悩みなど直接書いてもらう方法です。子どもの思いや、友達関係に対応し、子どものよりよい学校生活のために、「知る努力」を怠らず、子どもたちの心に向き合う教育姿勢を大切にしていきます。

悩みがあって、教員以外の人に話を聞いてもらいたい場合には、「スクールカウンセラー」(月2日)との相談もできます。生徒指導主任が窓口になりますので、お気軽にご相談ください。

「11 特別支援教育の充実に努めていますが、配慮の必要な子どもへの支援ができていますか」については、右図のように、「わからない」という方が28%いました。「特別支援教育」というのは、

学級内に1人~2人いるといわれる、「学校生活において特別に手厚い支援が必要となる子どもたちへの教育」です。漢字が読みとりにくい、注意がさまざまなことに移ってしまう(集中できにくい)、計算に時間がかかるなど、個々の子どもの実態に寄り添って支援することで、学習効果を高めていきます。「特別支援教育コーディネーター」も学校にはおります。いつでも相談できる体制がありますので、お知らせください。

特別支援教育の充実・配慮の必要な子への対応



「20 学校は、将来に向かって前向きに生きる教育をしていますか」では、肯定的な意見が54%、「わからない」が21%ありました。「学校では何を具体的にしているのかが分からない」というものと思います。今年度、6年の総合的な学習の時間に、様々な職業に就かれている方をお招きして、その仕事のよさや難しさ、仕事に対する姿勢などを話していただく会を開きました。子どもたちは、夢を持つて生活することの大切さや、今を精一杯生きることが夢の実現には欠かせないことを実感することができました。子どもたちが自分の将来を見据え、希望を持って生きることができるよう、支援していきたいと思ひます。

○その他 本校教育活動についてのご意見から

・本年度始めた「家庭学習ノート」について、「子どもが学習をする習慣が付き始めています」というご意見をいただきました。子どもたちの学習習慣作りについては、次年度も継続して取り組みたいと思ひます。また、学力向上のために、「基礎学力の時間」を設けてきましたが、次年度は、帰りの会前の10分間を特設し、算数学習の充実にねらい「基礎学力定着の時間」としました。子どもの力に合わせて学習を進めていく予定です。

たくさんのご意見をいただきありがとうございました。この結果を受けて、次年度に向けて教育計画を作成しました。「原の子17号その2」をご覧ください。